

2026年6月～2027年3月

第53期包装学校募集要項

- 包装機械設計技術専門課程
- パッケージングエンジニア専門課程
- デジタル制御技術専門課程
 - モーション制御実習講座



一般社団法人 日本包装機械工業会

■ 包装学校受講生募集のご案内

- 包装機械設計技術専門課程
- パッケージングエンジニア専門課程

日本包装機械工業会では、教育事業の一環として昭和49年（1974年）に“包装学校”を開講して以来、5,000名以上にわたる包装スペシャリストを世に送り出し、少なからず、企業のため、業界のため貢献してまいりました。

本学校は、設計技術、パッケージングエンジニア技術、オペレータ技術、包装機械と包装資材との適正化技術、経営管理技術等の総合教育を目標としていますが、当初は、本格的な国際化時代に対応するための技術の向上を目的とし、生産の心臓部である設計課程を開講し、第2期生まで教育を行ってまいりました。

しかし、オイルショック後、日本経済が低成長時代に入り、各企業とも単なるセールスマンからセールスエンジニアの育成の必要性が高まり、本学校では新たにセールスエンジニアリング技術課程を設けましたが、セールスエンジニアの育成のみならず、ユーザの皆様にも受講し易く包装に関する総合的専門知識の修得を図れるよう、名称を昭和58年（1983年）よりパッケージングエンジニア専門課程と変更し、さらに平成13年（2001年）から、設計技術専門課程に実習講座を組み入れるなど、常に時代の流れに合わせて、内容の充実を図っております。

講座修了者には修了証書を授与し、さらに資格認定試験合格者には、包装機械設計士・相談士の称号を授与いたしております。

本年も包装学校を開講いたしますが、各企業の社員養成の一環としてご参加くださるようご案内申し上げます。

一般社団法人 日本包装機械工業会
包装学校長 大森利夫



● デジタル制御技術専門課程

包装機械の制御にマイクロコンピュータを使用することは、もはや不可欠の技術となりました。このため、マイクロコンピュータ制御技術を駆使した包装機械の開発計画を進め、そのアフターフォローまでの業務を効率的に運ぶには、優秀なコンピュータ技術者の採用または企業内での育成が必要です。しかしながら現実には、技術者の確保は極めて難しく、設計からアフターフォローまで、かなりの部分を外部依存しているのが実状であります。

このため、昭和63年（1988年）より「マイクロコンピュータ制御技術専門課程」を設け、最新技術知識の取得レベルにとどまらず、マイクロコンピュータを応用した包装機械を設計することができ、サービス業務につくことができるコンピュータ技術者の育成を図ることにいたしました。

また、令和4年（2022年）からは「デジタル制御技術専門課程」に名称を変更し、制御設計の仕事に1年以上携わった方々を対象として、包装業界及びメカトロ機械開発に関する基礎講義とサーボモータを搭載したトレーニングデモ機を使用したモーション制御の実習講義で構成した専門講座にいたしました。サーボモータ制御及びモーションコントロール技術をより深く修得いただけるようにしております。

本課程は、業界からの強い要望に応じて開設した講座です。令和4年（2022年）より募集人数を従来の最大8名から16名に拡大いたしました。

当講座の主旨をご理解の上、業界の明日を担う各社の技術水準向上のため、ご参加下さいますようお願い申し上げます。

一般社団法人 日本包装機械工業会
包装学校長 大森利夫



■ 受講コース

● 共通課程（包装機械設計技術専門課程・パッケージングエンジニア専門課程）

包装人として必要な知識の修得を目的に、包装機械業界の動向、包装資材、安全・衛生、特許、国際規格、ロボット・IT技術の最新動向、など幅広い講座としております。

● 包装機械設計技術専門課程

目的と認識・対象の把握・対象改善の働きかけ・基礎実験・設計仕様の設定・構想と想像性、これらの設計手順をカリキュラムとした教育体系となっており、設計技術の仕事に2年以上携わった方々を対象としております。

● パッケージングエンジニア専門課程

包装に関する総合的専門知識を修得できるように組み立てられたカリキュラムとなっており、本格的な包装人の育成を目的としております。

● デジタル制御技術専門課程

ソフトの開発・プログラム設計をする人材のレベルアップを図ることを目的としており、制御関連の仕事に1年以上携わった方々を対象としております。

■ 包装学校の特徴

● 50年以上の歴史ある包装技術の基礎教育機関

昭和49年（1974年）の開講以来、これまで5,000名以上にわたる包装スペシャリストを世に送り出し、いずれも包材・機械メーカー・ユーザー等各界の発展に貢献し、第一線で活躍しております。

● 業界関係の講師陣による幅広い知識の習得が可能

各講座は自社の業務範囲・専門分野を超えた知識にもなり、包装という全体を捉える考え方を身につけられます。業界に携わる経験豊富な講師陣による講義と課題試験により、効果的な知識習得が可能です。

● 受講生同士のコミュニケーション

グループワークや懇親会を通じて、業界・企業に関わらず“横のつながり”が作れます。

● ハイブリッド型カリキュラム

オンデマンド配信も活用しており、講義を職場やリモートなど場所を選ばず、自由に繰り返し受講可能です。一方、開講式・グループワーク、基礎座学、実習講座、ディベート・修了式などはリアルな対面講座で実施します。

● 受講会場は東京会場・大阪会場を選択可能

対面講座は、東京・大阪いずれかの会場にて受講可能です。遠方の方も東日本・西日本にてお申し込みができ、利便性と業務の偏りを考慮し、基本的に各2日間の日程で実施します。

■ 受講生の構成(前期実績)

前期受講生数：132名／参加企業数：58社

① 受講生の業種・職種

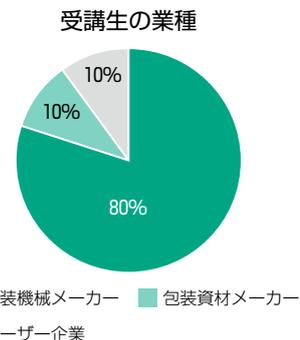
包装機械・包装資材メーカーを中心に、ユーザー企業も参加しており、包装に関連する知識の習得はもちろんのこと、日常業務では得にくい異なる立場・業種からの視点も学べる環境です。

〈ユーザー企業の業種内訳〉

食品系：80％／医薬品系：10％／化粧品・日用品系：10％

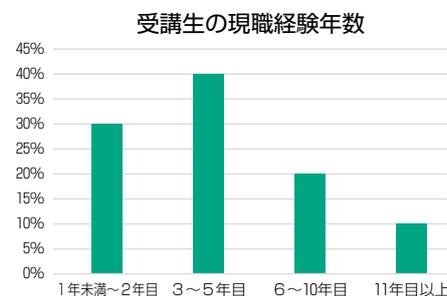
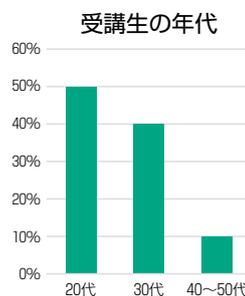
〈主な所属部署(代表例)〉

- ・機械・包材メーカー：設計、開発、営業、生産など
- ・ユーザー企業：生産、製造、開発、設備など



② 受講生の年代・現職経験年数

若手層の基礎力強化と中堅層の知識整理・視野の拡張を同時に図ることができ、企業内教育の一環として、ご活用いただきやすくなっております。



③ 参加企業の傾向

当期初参加企業	4社（包装機械メーカー：2社／包装資材メーカー：1社／ユーザー企業：1社）
リピート参加企業	参加企業の80%が複数名参加・2期連続参加

■ 包装学校を受講して(修了生のことば)

● 共通課程

☆包装機械、包装資材、関連分野における幅広い内容を基礎的な部分から学習できました。

☆オンデマンド講座は、視聴に自由度があり利便性が高かったです。また、繰り返しの聴講ができて知識がしっかりと身に付きました。

☆包装に関連するテーマで行ったディベート講義は、なかなか無い貴重な機会であり、刺激的な経験でした。また、講義やグループワークを通じて、様々な目線からの意見を知ることができ、広い視野で考えることの大切さも学びました。

☆メーカー、ユーザーに関わらず、横のつながりを増やせる場になり良かったです。修了後も展示会や仕事関係で会った際のコミュニケーションにも繋がりました。

● デジタル課程

☆実機と一人一台のパソコンがあるため、講義だけではなく、実習時間がとても多く、より学びになりました。

☆自社製品以外の機械のプログラムを考えることは滅多にない経験であり、他受講生の考えも知ることができて、自分とは違うプログラムの作り方や、使ったことのない命令があり、勉強になりました。

第53期包装学校カリキュラム

◎包装機械設計技術・パッケージングエンジニア共通講座
(2026年6月～2027年3月)

No	東京会場	大阪会場	テ ー マ	講 師	時間
1	6月16日(火) 10:00～17:00	6月26日(金) 10:00～17:00	開 講 式	包装学校長 企画運営委員	6
			グループワーク (オリエンテーション)	企画運営委員	

◎リアル対面講座 第一弾

No	東京会場	大阪会場	テ ー マ	講 師	時間
2	7月8日(水) 10:00～17:00	7月16日(水) 10:00～17:00	包装産業事情と包装人	大森 利夫氏 大森機械工業(株) 代表取締役社長 (一社)日本包装機械工業会 包装学校長	1
			包装機械概論－包装機械の基礎知識 とトラブル対応－ グループディスカッション	一岡 幹朗氏 協和電機(株) 代表取締役社長	5
	7月9日(木) 10:00～17:00	7月17日(金) 10:00～17:00	包装機械のメカトロニクス化	畑野 真人氏 元(一社)日本包装機械工業会 技術部長	3
			ロボットの最新事情	金崎 寛氏 PwCコンサルティング合同会社 シニアマネージャー	3

◎オンデマンド講座 第一弾

No	オンデマンド講座 第一弾	テ ー マ	講 師	時間
3	オンデマンド配信期間 8月4日(火)～9月8日(火)	包装自動化の進め方	大島 雅志氏 ゼネラルパッカー(株) 開発部 次長	3
		食品の安全・安心と包装	平野 晃氏 (公社)日本包装技術協会 包装技術研究所 包装システム研究室 室長	3
		包装システムと検査装置	植山 英弘氏 アンリツ(株) インフィビスカンパニー グローバル事業推進本部 Iブランディング部	3

◎オンデマンド講座 第二弾

No	オンデマンド講座 第二弾	テ ー マ	講 師	時間
4	オンデマンド配信期間 9月9日(水)～10月19日(月)	包装材料の知識(1) 段ボール	浅香 智之氏 レンゴー(株) 包装技術第一部 東京包装技術第三課 担当課長	3
		包装における環境配慮設計の考え方	松田 修成氏 (株)東洋紡パッケージング・プラン・サービス シニアアドバイザー	3
		海外出荷に伴う国際規格	西村 宏之氏 NITTOKU(株) 生産本部 副本部長	3

◎リアル対面講座 第二弾

No	東京会場	大阪会場	テ ー マ	講 師	時間
5	9月10日(木) 10:00～17:00	9月17日(木) 10:00～17:00	包装概論とプラスチック系包装材料	加藤 武男氏 加藤包装技術事務所 所長	6
			包装と印字	山口 礼司氏 イーデーエム(株) 技術本部 統括部長	3
	9月11日(金) 10:00～17:00	9月18日(金) 10:00～17:00	包装材料の知識(2) 板紙・紙器	小島 正人氏 王子パッケージング(株) 営業本部 副本部長	3

◎オンデマンド講座 第三弾

No	オンデマンド講座 第三弾	テ ー マ	講 師	時間
6	オンデマンド配信期間 10月20日(火)～11月24日(火)	包装機械と衛生管理	真野 仁孝氏 MANO技術士事務所 代表	3
		食品包装容器の無菌充填包装技術	伊藤 泰昌氏 四国化工機(株) 技術センター 所長	3
		デジタル技術の現状と今後 ーIoT、5G、AI、ビッグデータ等ー	岡部 忠氏 (地独)東京都立産業技術研究センター 研究開発本部 情報システム技術部 IoT技術グループ 主任研究員	6

◎リアル対面講座 第三弾

No	東京会場	大阪会場	テ ー マ	講 師	時間
7	11月12日(木) 10:00～17:00	11月18日(木) 10:00～17:00	安全工学 グループディスカッション	池田 博康氏 (独)労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 新技術安全研究グループ 特任研究員	6
	11月13日(金) 10:00～17:00	11月19日(木) 10:00～17:00	仕様書・取扱説明書の在り方	増田 康弘氏 (株)東京自働機械製作所 設計開発部 技術・特許課 課長	3
			最近の生成AIの進歩とその活用法	入鹿山 剛堂氏 (株)入鹿山未来創造研究所 代表取締役 所長 (一社)IoTリサーチ&デザイン 理事	3

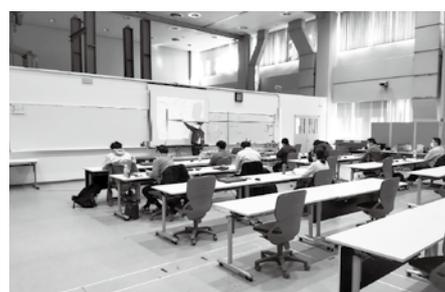
◎オンデマンド講座 第四弾

No	オンデマンド講座 第四弾	テ ー マ	講 師	時間
8	オンデマンド配信期間 11月25日(火)～1月18日(月)	包装機械と特許	橋本 虎之助氏 橋本総合特許事務所 所長 弁理士	6

◎オンデマンド講座 第五弾

No	オンデマンド講座 第五弾	テ ー マ	講 師	時間
9	オンデマンド配信期間 1月19日(火)～2月24日(火)	食品を巡る包装の現状と将来展望	石谷 孝佑氏 (一社)日本食品包装協会 理事長 農学博士	6

No	東京会場	大阪会場	テ ー マ	講 師	時間
10	2027年 3月5日(金) 10:00～17:00	2027年 3月12日(金) 10:00～17:00	ディベート	企画運営委員	6
			修了式	包装学校長 企画運営委員	



◎包装機械設計技術専門課程（2026年11月～2027年2月）

◎オンデマンド講座 第四弾

No	オンデマンド講座 第四弾	テ ー マ	講 師	時間
11	オンデマンド配信期間 11月25日(水)～1月18日(月)	機構学の基礎、駆動システムの選び方	西田 麻美氏 (株)プラチナリンク 代表取締役社長 工学博士	6
		初歩から学ぶ制御工学	西田 麻美氏 (株)プラチナリンク 代表取締役社長 工学博士	6
		設計と生産技術	山村 憲司氏 (株)古川製作所 総務部 取締役 総務部長	3
		空圧機器回路 設計方法	植村 浩司氏 CKD(株) 機器事業本部 販売促進部 CS営業グループ	3

◎リアル対面講座（設計） 第四弾

No	東京会場	大阪会場	テ ー マ	講 師	時間
12	1月19日(火) 10:00～17:00	1月26日(火) 10:00～17:00	電子回路(1) 電子回路の基礎知識	浅野 博氏 関東職業能力開発大学校 生産電子情報システム技術科 教授	6
	1月20日(水) 10:00～17:00	1月27日(水) 10:00～17:00	電子回路(2) 制御の基礎知識	浅野 博氏 関東職業能力開発大学校 生産電子情報システム技術科 教授	6
	1月21日(木) 10:00～17:00 会場:高度ポリテクセンター	1月28日(木) 10:00～17:00 会場:ポリテクセンター関西	実習講座(電子回路編)	高度職業能力開発促進センター 関西職業能力開発促進センター	6
	1月22日(金) 10:00～17:00 会場:高度ポリテクセンター	1月29日(金) 10:00～17:00 会場:ポリテクセンター関西	実習講座(機械編)	高度職業能力開発促進センター 関西職業能力開発促進センター	6

◎オンデマンド講座 第五弾

No	オンデマンド講座 第五弾	テ ー マ	講 師	時間
13	オンデマンド配信期間 1月19日(火)～2月24日(水)	機器設計とデザイン	田中 隆充氏 国立大学法人 岩手大学 教授・工学博士	6

◎パッケージングエンジニア専門課程（2026年11月～2027年2月）

◎オンデマンド講座 第四弾

No	オンデマンド講座 第四弾	テ ー マ	講 師	時間
11	オンデマンド配信期間 11月25日(水)～1月18日(月)	海外取引の常識	渡辺 広志氏 (株)東京自動機械製作所 シニアプロフェッショナル	3
		食品包装設計	清水 啓介氏 清水KSK技術士事務所 所長 包装専士	3
		医薬品包装機械のバリデーション	澁井 将興氏 CKD(株) 自動機械事業本部 技術統括部 主席技師	3

◎リアル対面講座（パッケージ） 第四弾

No	東京会場	大阪会場	テ ー マ	講 師	時間
12	1月21日(木) 10:00～17:00	1月28日(木) 10:00～17:00	ケーススタディ(1) ー 横ピロー包装機の基礎知識 ー	一岡 幹朗氏 協和電機(株) 代表取締役社長	3
			ケーススタディ(2) ー 縦ピロー包装機の基礎知識 ー	窪井 宏行氏 (株)川島製作所 技術本部 技術部 次長	3
12	1月22日(金) 10:00～17:00	1月29日(金) 10:00～17:00	ケーススタディ(3) ー 共同開発・その他の技術契約について ー	岡村 剛敏氏 大和製衡(株) 取締役 管理本部 本部長	3
			マーケティング戦略とパッケージデザイン	中越 出氏 (公社)日本パッケージデザイン協会 事務局長	3

◎オンデマンド講座 第五弾

No	オンデマンド講座 第五弾	テ ー マ	講 師	時間
13	オンデマンド配信期間 1月19日(火)～2月24日(水)	包装(医薬・食品)における自動認識技術の基礎及び事例	豊浦 基雄氏 Bプランナーズ 代表	3

第53期包装学校カリキュラム ◎デジタル制御技術専門課程(2026年6月～2027年3月)

◎開講式・グループワーク（オリエンテーション）

No	東京会場	大阪会場	テ ー マ	講 師	時間
1	6月16日(火) 10:00～17:00	6月26日(金) 10:00～17:00	開講式	包装学校長 企画運営委員	6
			グループワーク (オリエンテーション)	企画運営委員	

◎リアル対面講座

No	東京会場	大阪会場	テ ー マ	講 師	時間
2	7月8日(水) 10:00～17:00	7月16日(木) 10:00～17:00	包装産業事情と包装人	大森 利夫氏 大森機械工業(株) 代表取締役社長 (一社)日本包装機械工業会 包装学校長	1
			包装機械概論ー包装機械の基礎知識 とトラブル対応ー グループディスカッション	一岡 幹朗氏 協和電機(株) 代表取締役社長	5
	7月9日(木) 10:00～17:00	7月17日(金) 10:00～17:00	包装機械のメカトロニクス化	畑野 真人氏 元(一社)日本包装機械工業会 技術部長	3
			ロボットの最新事情	金崎 寛氏 PwCコンサルティング合同会社 シニアマネージャー	3

◎モーション制御実習講座

(実際の包装機械に採用されている機械制御の言語とトレーニングデモ機を使用して、機械を制御するために必要な知識とプログラミングのテクニックを習得します)

No	日 時	テ ー マ	講座のポイント(狙い)	講 師		
3	A日程 10月21日(水)	PLC(シーケンサ) ・ユニット構成特徴 ・開発ツールの操作(簡単な回路を作成) モーションコントローラの特徴 ・マルチCPU構成の概念 ・システム設定、軸設定パラメータの設定、マルチCPU設定 ・モーションプログラム概要 ・モーションプログラムの作成方法 ・同期制御概念 運転シーケンス(ラダー言語トレーニング) ・メカデモ機にて自動運転回路を作成 横形ピロー包装機の概要説明 ・メカ機とメカトロ機 トレーニングデモ機 ・デモ機仕様書説明 ・デモ機モーションシステム概要説明 ・機械原点復帰動作説明 ・初期位置移動量の方程式(計算式作成トレーニング)	プログラミングツール操作を習得する	畑野 真人氏 元(一社)日本包装機械工業会 技術部長		
	B日程 10月28日(水) 10:00～17:00 包装機械会館2階				モーションコントローラシステム構成を理解する	
	モーションプログラムを理解する モーションプログラム言語の作成方法を習得する 同期制御の意味を理解する メカデモ機で運転シーケンス回路を作成する 運転回路の標準化の重要性を把握する					
	A日程 10月22日(木)		・初期位置移動量の算出(モーションプログラムトレーニング) ・デモ機モーションプログラムの説明 不等速データテーブル(カムデータ作成トレーニング) ・色々な動作を体験(縦ピロー、ケーサなど) デモ機の制御システム、プログラム構成説明 ・タスクの説明 タイミングカム、クラッチ、シフト機能の説明 応用実習兼修了認定試験の課題説明 (タイミングチャート作成、プログラム作成及びデバッグ)	カムデータの動作を体感する 他機種への応用を創造する デモ機の制御システムを理解する	吉岡 伸洋氏 大森機械工業(株) イノベーション推進 本部 副本部長	
	B日程 10月29日(木) 10:00～17:00 包装機械会館2階					横形ピロー包装機を知る
	仕様書の重要性を理解する デモ機のシステム構成を把握する 横形ピロー特有の原点復帰動作を理解する 横形ピロー特有の仕様を理解する					
	A日程 10月23日(金)		応用実習兼修了認定試験 レジマーク制御概要の説明 他社のモーションコントローラの紹介 デモ機を使っでの自由実習	レジマーク制御の考え方を理解する 他社コントローラとの相違点を知る モーション制御設計に自信を持つ	幸野 竜介氏 三菱電機(株) FAシステム事業本部 FAエンジニアリングサービス部 グローバルソリューション サポートグループ	
	B日程 10月30日(金) 10:00～16:00 包装機械会館2階					

◎ディベート・修了式

No	東京会場	大阪会場	テ ー マ	講 師
4	2027年 3月5日(金) 10:00～17:00	2027年 3月12日(金) 10:00～17:00	ディベート	企画運営委員
			修了式	包装学校長 企画運営委員

- ◎ 募集要項
- 包装機械設計技術専門課程
 - パッケージングエンジニア専門課程
 - デジタル制御技術専門課程

- ◎ 受講資格
- 包装機械設計技術専門課程・パッケージングエンジニア専門課程
原則として上長の推薦を有し、且つ関連業務に実務経験を有する方
 - デジタル制御技術専門課程
原則として上長の推薦を有し、且つ制御関連の仕事に1年以上携わった方

- ◎ 定員
- 包装機械設計技術専門課程 50名
 - パッケージングエンジニア専門課程 50名
(東京会場・大阪会場) 50名ずつ
 - デジタル制御技術専門課程 16名

- ◎ 受講料 (全期間通し)
- 包装機械設計技術専門課程
 - ・ 会員 340,000円 (税別)
 - ・ 非会員 390,000円 (税別)
 - パッケージングエンジニア専門課程
 - ・ 会員 320,000円 (税別)
 - ・ 非会員 370,000円 (税別)
 - デジタル制御技術専門課程
 - ・ 会員 130,000円 (税別)
 - ・ 非会員 180,000円 (税別)
- (テキスト、資料費、集合教育昼食費等を含む)

- ◎ 申込期間 2026年3月23日(月)～2026年5月8日(金)まで
申込順に受け付け、定員になり次第、申込を締め切らせていただきます

- ◎ 申込方法 入学申込は当会ホームページよりオンラインフォームにて受け付けます。
当会HP：<https://www.jpmma.or.jp/school/contact.html>
又はQRコード先より
- 
- お申し込みは、
- ① 受講生情報フォームの入力
 - ② 推薦者情報フォームの入力
 - ③ 請求担当者情報フォームの入力
- 以上3段階の入力をもって受付完了となります。
詳細に関しましては、当会HP又は申込フォーム内をご参照ください。
- ・ 受講料のお振込み
お申し込み後、別途ご案内をさせていただきます。
恐れ入りますが、振込手数料は貴社にてご負担願います。

- ◎ **キャンセル** お申込みの講座をキャンセルされる場合、当会のキャンセルポリシーに基づきキャンセル料が発生します
お申込み前に必ず、当会HPよりご確認ください
キャンセルポリシー：<https://www.jpmma.or.jp/school/contact.html>
又はQRコード先より



- 包装機械設計技術専門課程
- パッケージングエンジニア専門課程
開講式開催月より翌月まで ￥100,000（消費税別）を返却いたします
開講式開催月より翌月以降は受講料の返却はいたしません
- デジタル制御技術専門課程
実習講座開催月前月まで ￥50,000（消費税別）を返却いたします
実習講座開催月以降は受講料の返却はいたしません

- ◎ **修了**
- 包装機械設計技術専門課程・パッケージングエンジニア専門課程
次の両項の条件を満たす受講生には、修了証を授与いたします
 1. 講義の所定日数に出席したもの
 2. 試験答案を提出し、規定点以上の成績を取得したもの
 - デジタル制御技術専門課程
 1. 試験答案を提出し、規定点以上の成績を取得したもの
 2. モーション制御実習講座を修了したもの

- ◎ **称号授与**
- 包装機械設計技術専門課程 包装機械設計士
 - パッケージングエンジニア専門課程 包装機械相談士
- 各課程の修了者で、成績優秀な者を認定試験により上記称号に認定し、認定証（カード）を授与いたします

- ◎ **修了者特典**
- ・授与された称号は、名刺等印刷物に使用できます
 - ・包装機械情報メール「P&M通信」その他関係資料が送付されます
 - ・当会関連セミナー等のご案内が送付されます

助成金に関して

各都道府県により対応等が異なりますので、詳細に関しましては、下記にお問い合わせ下さい

■お問い合わせ先

各都道府県労働局

または下記ホームページよりご確認ください

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html

(人材開発支援助成金のご案内ー厚生労働省)

■個人情報について

本校に提出の入学申込に記載された個人情報の取扱いは、本校研修の実地、運営等に関する範囲内に限って利用を行い、その他の目的には利用いたしません。

なお、修了者名、資格認定試験合格者名、勤務先名は包装機械情報メール（無料）「P&M通信」に掲載いたします。

登録はこちらから <https://www.jpmma.or.jp/publication/index.html> 又はQRコード



●包装学校長

大森機械工業(株) 代表取締役社長 大森利夫

●包装学校企画運営委員

企画運営委員長 協和電機(株) 代表取締役社長 一岡幹朗

副企画運営委員長 大和製衡(株) 取締役 管理本部 本部長 岡村剛敏

企画運営委員 イーデーエム(株) 技術本部 統括部長 山口礼司

“ C K D (株) 自動機械事業本部 技術統括部 主席技師 澁井将興

“ (株)東京自動機械製作所 シニアプロフェッショナル 渡辺広志

企画運営委員 (株)古川製作所 総務部 取締役 総務部長 山村憲司

企画運営委員顧問 (株)フジキカイ 代表取締役社長 生田涌希

企画運営委員アドバイザー イーデーエム(株) 代表取締役社長 安達拓洋

事務局 一般社団法人日本包装機械工業会 専務理事 金澤信

“ “ 事務局長 長谷雄仁

“ “ 技術部 部長 榊矢隆一

“ “ 技術部 課長 荒井拓己

一般社団法人
日本包装機械工業会

〒104-0033 東京都中央区新川12-5-6 包装機械会館
E-mail : school53@jpmma.or.jp
TEL : 03-6222-2279
TAX : 03-6222-2280
URL : <https://www.jpmma.or.jp/>

包装学校事務局
担当・問い合わせ
技術部：荒井
総務部：長谷雄